

インフルエンザの注意喚起について

県内でインフルエンザの患者が増加しています。

県が実施している感染症発生動向調査の令和7年第43週(10/20~10/26)において、仙南・大崎保健所管内における1定点医療機関当たりの患者報告数が令和6年度まで運用していた注意報発表基準値(10人)を超えました。

今後も感染者数の増加が予測されますので、感染拡大を予防するため、咳エチケットや換気、手洗いなどの基本的感染対策の徹底に加え、予防接種の検討をお願いします。

～インフルエンザとは～

原因: インフルエンザウイルスにより感染します。

症状: 1～3日の潜伏期間の後、38℃以上の発熱、頭痛、筋肉痛、関節痛などが突然現れ、その後、咳や咽頭痛、鼻水といった上気道症状などを呈します。また、子ども、高齢の方、免疫力の低下している方などは重症化して肺炎や脳炎になることがあります。

治療: 症状に応じた対症療法が中心ですが、抗インフルエンザ薬を使用する場合もあります。

感染経路: 飛沫感染(咳やくしゃみで飛散した飛沫の中のウイルスにより感染します。)

接触感染(ウイルスが付着した手で口や鼻に触ることにより感染します。)

予防: くしゃみや咳が出るときや人混みでは、マスクを正しく着用するなど咳エチケットを心がけましょう。室内ではこまめに換気しましょう。

外出後や食事前など、石けんによるこまめな手洗いやアルコール製剤での手指消毒を徹底しましょう。

予防接種は、発症を抑える効果や重症化を予防する効果がありますので、接種を検討しましょう。

○ 各保健所管内における1定点医療機関当たりのインフルエンザ患者報告数(人)

		保健所						宮城県(合計)
		仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼	仙台	
疫学週	第39週	0.00	0.00	0.00	0.20	0.50	0.65	0.36
	第40週	0.60	0.30	0.20	0.00	0.50	1.69	0.96
	第41週	2.40	0.40	1.00	0.60	3.75	2.65	1.96
	第42週	4.00	3.70	2.60	1.20	2.75	3.96	3.45
	第43週	17.00	7.50	12.00	4.00	5.25	7.62	8.35

○過去5シーズンにおける注意報発表状況(参考)

	令和2/3年	令和3/4年	令和4/5年	令和5/6年	令和6/7年
注意報発表日	注意報発表なし	注意報発表なし	令和5年2月9日	令和5年9月14日	令和6年12月12日
警報発表日	警報発表なし	警報発表なし	警報発表なし	令和5年11月9日	令和6年12月26日

○ 参考となるホームページ

国立健康危機管理研究機構「インフルエンザ」

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/a/influenza/index.html>

宮城県結核・感染症情報センター

<https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>